

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【長瀬市民センター】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 6 月 30 日(火) 19:00～ 20:10
開催場所		長瀬市民センター 大ホール
出席者	市民	36 名
	行政(市職員)	環境部長、 ごみ減量企画室3名、廃棄物対策課2名、 資源循環型施設建設関連事業課 2 名、 丸子市民サービス課職員 2 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	有機物リサイクル施設	当面の間、建設見合わせとなっている有機物リサイクル施設について、廃止とせずに継続してほしい。施設は SDGs といった視点や教育施設として考えてもらい、財政が厳しいとすれば 10 年 20 年後を考えて、継続性のある施設を建設してほしい。	建設に向けた施設整備事業の精査は現在も行っている。教育施設という考えも基本方針に示し、地元の皆様と協議しながら進めてきた。事業は今現在、当面見合わせという答えしかないが、全く白紙の状態ではないので、皆様の総意も踏まえながら進めてまいりたい。
2	社会見学	大人の方が、動画にある手作業で確認している様子などを、実際に見るような見学会を過去に開催したと思うが、今後そのような事業をする予定はあるか。	過去に大人の社会科見学を開催したこともある。そういった御要望もあるので、今後考えていきたい。
3	資源循環型施設	新たな焼却施設の 1 日の焼却量(規模)はどのくらいか。96 トンと話を聞いた。	1 日の焼却量(施設規模)は、126 トンであり、96 トンという話しはない。

4	環境教育	これからの上田を担っていく子どもたちに、現場のことを分かっている職員等が出前授業のような形で本日の話をしたり、施設見学を計画してもらうことを要望したい。	毎年、社会科見学として小学４年生がクリーンセンターに来ている。また、環境フェア等のイベントや保育園での環境教育もごみ減量アドバイザーが中心となり実施している。今後、このような活動を広げていきたい。
5	有機物リサイクル施設	建設予定地で汚染物質が出て、今はその土壌も撤去し更地になっているが、土壌にも汚染物質が含まれていると聞いた。現場のブルーシートも劣化してくると思うが、いつまであの状態なのか。また、雨水等で流れ出すことはないのか。現在の状況やこれからの見通しを教えてください。	土壌を撤去した後の土地を調べたところ、水銀・鉛・砒素が環境基準不適合となり、現在はブルーシートで覆っている。ブルーシートも劣化するため都度補強しているが、見合わせの間は補強対応をしていく。地下浸透により下流域に流れることも考えられるので、沢水の水質調査を行う計画である。状況により県へ報告し指導を受けながら対応していく。健康被害があるかどうかについても調査し健康被害のおそれがないことは県にも確認している。
6	資源循環型施設	新施設は既存３施設の処理能力が半分以上になるとの説明だが、人口を増やす取組をしている自治体もあり、本当に大丈夫なのか心配である。	現施設は人口やごみが増えていく想定で算定しており余裕のある規模である。新施設の規模算出は現在のごみの発生量や人口減少、ごみ減量施策等の現状を踏まえ、国の算定式を用いて規模を設定している。このため、新施設は現在のごみ量でも焼却可能となる設定をしているので御理解いただきたい。

7	資源循環型 施設	新施設は 13 年度稼働とのことだが、仮に使用不能となったらどうするのか。既存の 3 施設は完全に止めてしまうのか。	既存 3 施設は老朽化が著しいため、新施設稼働後は全て解体し撤去する計画である。新施設は最新の設備となり、止まることは想定していないため、対策の検討はこれからになる。仮に火災等で止まってしまった場合には、皆様に排出量を抑えてもらうことや、近隣自治体の焼却施設や民間焼却施設に持ち込むことが想定される。
---	-------------	--	--